

入院のご案内

(必ずお読みください) 2021.4改定版

*Cardiovascular Hospital
of Central Japan*



このマークは、英語の頭文字 CCJ を取って出来ました。

日本の真中に位置する “尊い生命を守る” 循環器病院です。

医療法人 北関東循環器病院

診療科目：循環器科 心臓血管外科 内科 外科 血液透析内科
泌尿器科 整形外科 婦人科 眼科 皮膚科
消化器内科・外科 リハビリテーション科 放射線科

〒377-0061

群馬県渋川市北橘町下箱田 740

TEL 027-232-7111 0279-30-2050

FAX 027-233-9092

URL <http://www.ccj.or.jp>

🌱病院理念

- 患者さん中心の医療
- 循環器疾患を中心とした全人的医療・医学

入院時に、主治医・看護師などにより治療方針や入院中の生活についてご説明致します。
なお、ご不明な点がございましたら、お気軽に主治医または看護師にお尋ねください。

🌱患者さんの権利について

北関東循環器病院では患者さんの権利を尊重し、患者さんと当院の信頼関係を深め、より良い医療を受けていただくために、以下の基本姿勢を掲げました。

1. 個人尊重の権利

患者さんは、病を自ら克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重される権利があります。

2. 平等な医療を受ける権利

患者さんは、その経済的社会的地位・年齢・性別・疾病の種類などにかかわらず、平等な医療を受ける権利があります。

3. 最善の医療を受ける権利

患者さんは、適切で最善の医療を受ける権利があります。

患者さんは、必要なときはいつでも、医療従事者の援助・助力を求める権利があります。

患者さんは、医師および医療機関を選択し、また転医する権利があります。転医に際しては、前医の診療に関する情報および記録の写しの交付を求める権利があります。

4. 知る権利

患者さんは、検査および治療の目的・方法・内容・危険性・予後について十分な説明を受け、理解・納得する権利があります。

5. 自己決定の権利

患者さんは、十分な説明を受け、治療を受ける権利と治療を受けることを拒否する権利があります。

6. プライバシー等の機密保持を得る権利

患者さんは、治療で医療者が知り得たすべてのプライバシーの機密保持を得る権利があります。

以上、患者さんの権利を守り、より良い医療を提供させて頂くためには、病院の努力だけでなく患者さんやご家族のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

▼入院手続きについて

予約入院される方の場合

1. 当日は、指定された時間に来院して下さい。
2. 総合受付に、**入院申込書**・**健康保険証**を出して下さい。
3. 入院日には、主治医からの病状・検査等の説明があります。**ご家族の方も一緒にお受けください。尚、説明は午後になる場合もあります。**
ご了承下さい。

受診日に緊急入院になった場合

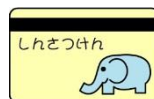
1. 受診日に急に入院となった場合、すべての手続等は看護師が代行致します。
(ご家族の方が一緒の場合は、ご家族の方をお願い致します)
2. **入院生活に必要な品物は売店に揃えてあります。**
開店時間：月～金 9:00～17:00 土・祝祭日 9:00～13:00 日曜日は休み。

- ◇ 保険証等の提出がない場合、提出されるまで全額自費扱いとなります。
- ◇ 以下の場合すみやかに入退院受付までご連絡ください。
 - 保険証の資格がなくなった場合
 - 保険証の記号番号等に変更があった場合
 - 連絡先等に変更があった場合
- ◇ 高額療養費適用認定証をお持ちの方は入院時ご提示ください。

▼入院費について

入院医療費については、月末締切りで翌月 11～12 日と退院時に請求をさせて頂きます。当院では入院費の請求書を発行しておりませんので、会計窓口にお声がけください。支払い計算方法は、『包括評価（DPC）方式』で行っております。お支払い方法は、現金もしくは、クレジットカード（JCB・VISA・AMERICAN EXPRESS・MasterCard）にて、会計窓口をお願い致します。ご不明な点は、窓口でお尋ね下さい。

▼入院日にお持ちいただくもの



寝衣（パジャマ等）・タオル（フェイスタオル・バスタオル）は、「入院セット」のレンタル制度をご利用いただくこともできます。

「入院セット」とは

- ・当院委託業者（ワタキュー）との契約でレンタルセットをご利用頂く制度です。
- ・入院時または、入院決定時に説明を受けワタキューと契約になります。

入院セットをレンタルした場合、ご自身で持参して頂くもの。

＊肌着 ＊かかとのある靴（スリッパ等は不可）＊靴下＊髭剃り(男性のみ)

＊時計(眼科のみ)

▼入院中のお願い

喫 煙：病院全敷地内禁煙となっております。ご協力をお願い致します。

貴重品：現金・貴重品は紛失・盗難の恐れがございますので小銭程度にしてください。

尚、床頭台引出に備付けの簡易金庫をご利用ください。鍵の管理をお願いします。退院時は鍵を所定の場所に返却してください。

テレビ：テレビはベッド毎に設置しております。持ち込みはご遠慮下さい。

イヤホンは売店での販売となっております。

プリペイドカードは各階ロビーの自動販売機でお買い求めください。

（1枚 1,000円）



冷蔵庫：冷蔵庫は床頭台の個人用冷蔵庫をご使用ください。プリペイドカードでご利用できます。

電気製品：ご使用はご遠慮下さい。娯楽以外の持ち込みは入院時に申告してください。

電話：公衆電話は2階と4階に設置しておりますのでご利用下さい。また、電話での呼び出しは緊急以外ご遠慮下さい。

駐車場：入院患者さんの駐車はご遠慮下さい。事故・盗難等については、当院では一切の責任は負いかねますので、ご承知下さい。

洗濯：コインランドリーの設置はありませんので、ご自宅での洗濯をお願いします。

食事時間：移動できる方は、環境のよいデイルームをご利用ください。

化粧品：化粧、マニキュア・ペディキュア・ジェルネイルなどはご遠慮いただけるようお願いします。

食事：朝食は8：00、昼食は12：00、夕食は18：00です。

食事は症状により担当医の指示に基づいて用意されますので
飲食類をご自宅からお持ちにならないでください。



アレルギーなどについては、医師、看護師、管理栄養士にご相談ください。

入浴・シャワー：入浴は主治医の許可が必要です。

予約制で10：00～16：00までです。（2階、4階）

3階のみ機械浴設置がございます。

入浴できない患者さんは病状に応じて看護師が身体をお拭きいたします。



外出・外泊：主治医の許可が必要です。やむを得ない事情で外出・外泊を希望される方は各病棟師長にお話してください。

消灯時間：午後9時以降は消灯とさせていただきます。

付 添 い：当院の看護は付添人を必要としません。但し、ご病状その他の事情によってご家族の付添いをご希望の場合には看護師長にお申し出ください。

差額ベッド：個室をご希望の方は、あらかじめ入退院センターで予約をしてください。
 部屋数に限りがあります、ご希望に添えないこともありますのでご了承ください。

差額室料と主なサービス ※差額室料、健康保険料の適用は受けられません
 ※1 日につき定められた室料であり、1 泊にかかる料金ではありません
 ※料金は消費税込み金額です。

設置病棟	部屋番号	差額室料	テレビ	トイレ	ユニットバス	シャワーのみ	洗面台	簡易キッチン	冷蔵庫	ロッカー	応接セット
2 階	206 号室	5,500 円	○				○		○	○	○
3 階	307 号室 (2 人部屋)	3,300 円	有料	○			○		有料	○	○
	310 号室	3,300 円	有料						有料		
	311 号室	3,300 円	有料						有料		
	316 号室	8,800 円	○	○		○	○		○	○	○
	317 号室	5,500 円	○	○			○		○	○	
	318 号室	3,300 円	有料						有料	○	
4 階	407 号室	8,800 円	○	○	○		○	○	○	○	○
	410 号室	3,300 円	有料						有料		
	411 号室	3,300 円	有料						有料		
	416 号室	8,800 円	○	○		○	○		○	○	
	417 号室	5,500 円	○				○		○	○	
	418 号室	5,500 円	○				○		○	○	

▼病院からのお知らせとお願い

1. 入院時のお部屋の指定（病棟・病室）は、出来ません。病状等により、病棟・病室が変わっていただく場合がありますので、ご理解とご協力をお願い致します。
2. **職員へのお心遣いは一切ご辞退させていただきます。お持ち下さってもお返しさせて頂くことになりますのでご了承ください。**
3. ご意見箱が各階設置してございますので、ご意見、ご要望などお聞かせ下さい。担当責任者が後日、回答し各階に掲示させていただきます。
4. 携帯電話は、医療機器の誤作動を招く恐れがありますので決められた場所でご使用下さい。
使用可能な場所は、個室（医療機器装着していない時）。
2階・4階は公衆電話付近の一角、3階はデイルーム、
外来は正面玄関入口（風除室）の花壇がある場所でご使用下さい。
5. 入退院時に健康保険証の確認がありますので中央受付に提示して下さい。
6. 入院患者さんの安全確保のため、ネームバンドを手首に付けさせていただいております。ご協力お願い致します。
7. 迷惑行為の禁止について
 - 病院の敷地内は、全面禁煙となっています。
入院中の喫煙は固くお断りしております。また、タバコの持ち込みも禁止です。
持ち込まれた場合は、病院でお預かりさせていただきます。
 - 病院は、治療を受ける患者さん、付添者、医療従事者など多くの人々が共生する場です。大声などの迷惑行為、飲酒、暴力、性的嫌がらせなどの反社会的行為は、厳につつしんでいただきます。病院の規則が守れない場合には、退院していただく場合があります。
8. 感染予防のお願い

各病室の入口に、手指を消毒するための薬剤を設置しています。
感染防止のため、病室へ出入りする際は、手指の消毒をお願いします。
9. **ほかの医療機関で処方されているお薬がありましたら。入院の際、看護師にお伝えください。**
現在、他院からのお薬をお持ちの患者様は、
入院期間中の服用分をあらかじめご用意しご持参ください。
10. 原則として当院入院中に他院および他科の診療は受けられません。

—医療費支払いについて、ご存知ですか—

70 歳未満の方の入院に係る高額療養費の現物給付化について

70 歳未満の方の医療費は3割負担ですので、入院時の費用が高額になると心配な方もいらっしゃると思います。あらかじめ、各保険者に申請し、「限度額適用認定証」の交付を受け、病院窓口に提示することで、各月の入院医療費を自己負担限度額までとする事が出来ます。

（医療費ですので、食費、雑費は含まれません。）

※ ご不明な点は、病院相談室のソーシャルワーカーにご相談ください。

▼ご面会について

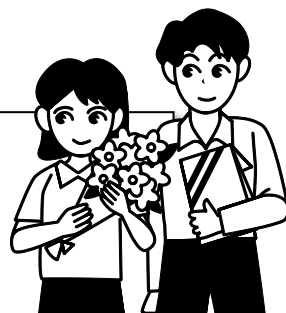
入院患者さんの治療・療養・安静を考え面会時間を下記のように決めさせていただいております。

一般病室

月～金曜日 15:00～19:00

土～祝祭日 13:00～19:00

- ⊕ ご面会の際は必ず病棟看護室にお申し出下さい。
- ⊕ お子様・風邪などの方は感染防止のためにご遠慮ください。
- ⊕ 長時間のご面会はお遠慮下さい。
- ⊕ 一度に多数の方々のご面会はお遠慮下さい。
- ⊕ 飲食はお慎み下さい。



ICU・CCU（集中治療室）

午 前 11:00～11:30

午 後 15:30～16:30

- ⊕ 1 回のご面会は2人まで、面会時間は1回5分～10分をお願いします。
- ⊕ 面会時間内に来られない方は病棟師長にお申し出下さい。
- ⊕ ご家族以外のご面会はお遠慮下さい。

また、季節によっては面会制限をかける場合があります。その時は病院の支持に従っていただきます。

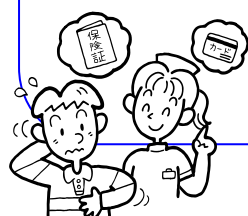
▼医療福祉相談のご案内

病気に関連して起こる生活上のことでお困りの方は「医療福祉相談室」にご相談ください。

患者さん・ご家族さんと一緒に考え問題解決に協力させていただくために、専門の職員（ソーシャルワーカー）がご相談をお受けしております。

どうぞ、お気軽にご利用ください。

相談の内容については一切の秘密をお守りいたします。



相談窓口：中央受付・病棟看護師長
相談室：新棟1階



▼ドナーカードお持ちの方は入院時ご提示下さい



〈1, 2, 3, いずれかの番号を○で囲んでください。〉

1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。

2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。

3. 私は、臓器を提供しません。

〈1〉又は〈2〉を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。
【心臓・肺・肝臓・腎臓・脾臓・小腸・眼球】

〔特記欄〕

署名年月日：_____年____月____日

本人署名(自筆)：_____

家族署名(自筆)：_____



▼病院内のご案内

旧棟	4 階	病室（401～418）デイルーム ナースステーション
	3 階	病室（301～318）デイルーム ナースステーション 機械浴
	2 階	病室（201～206 ICU CCU）デイルーム ナースステーション 救急処置室 手術室 カテ室 医局 中材
	1 階	薬剤部 放射線部 検査部 ドック室 応接室 売店
	地下1階	CRC 室 厨房 厨房事務室
新棟	3 階	管理部門
	2 階	リハビリ室 透析室 ダイニングカフェ（喫茶 9:00～16:00 食事 11:00～14:30）
	1 階	受付 会計 入退院受付 医療相談室 医事課 外来診察室（内科・外科・婦人科・眼科） 内視鏡室



入院患者・ご家族の皆様へ
栄養サポートチーム（NST）のご案内

病気のときこそ
バランスのとれた
栄養が必要です

そこで
当院では

NST の活動を
開始しました

医師・看護師・栄養士・
薬剤師・臨床検査技師・
診療放射線技師・事務が
チームとなって取り組んで
います

患者様 1 人 1 人に合った
栄養管理を行います

食事や栄養に関する要望・
相談・疑問にお答えします
気軽にスタッフに声をかけて
下さい

入院患者・ご家族の皆様へ
入院中の転倒防止のために

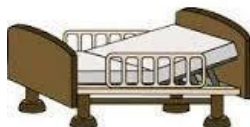
ナースコールについて

入院されましたらナースコールの位置と、ご使用方法について確認しましょう。何かあれば看護師を呼ぶことができるように、ご自分の手の届く位置に置きましょう



ベッドの高さについて

ベッドの高さは腰を掛けた時に足が床に着く高さがよいでしょう。物を取ろうとしてベッドから身を乗り出すと、転落する恐れがあるため危険です。



履物について

スリッパは滑りやすく脱げやすいのでやめましょう。安全でサイズの合った靴、履きなれた運動靴などにしましょう



お薬について

睡眠薬・精神安定剤・血圧を下げるお薬・アレルギー剤などを服用されている場合は、足元がふらつくことがあります。自己判断で増減せず看護師にご相談ください



車いすについて

車いすを乗り降りする際は、必ずブレーキをかけてください。フットレスト(足を乗せるところ)に立つと危険です。車いすに乗り降りする際は、フットレストを上げた状態でご使用ください。車いすに座っている際に、背もたれに体重をかけすぎると後ろに倒れる恐れがあり危険です。



夜間のトイレについて

就寝前にトイレはお済ませ下さい。
周囲が薄暗いため、心配な方は遠慮なく看護師にお知らせください。
ポータブルトイレや尿器を設置することもできます。

ベッド周囲の整理整頓

ご面会の際には、ベッド周囲に物を置かないよう整理・整頓をお願いします。着替えは棚の中に収納をお願いします。



点滴スタンドについて

カーテンの網目の部分や、病室・トイレの等に入口の高さに注意してください。
引っかかりたり、ぶつかりたりすると転倒する恐れがあるため危険です。



床頭台やオーバーテーブルについて

ベッド脇の床頭台や付属のオーバーテーブルに手をつくと動き出すことがあります。
床頭台やオーバーテーブルに手をつくと思わぬ事故になり危険です。



ミトンなどご使用患者のご家族様へ

ミトンを外してご面会された場合は、お帰りになる際に、必ず看護師にお声かけ下さい。ご協力をお願いします。



せん妄について

病院は住み慣れた自宅と環境が変わり、脱水、感染、貧血、薬物など身体に何らかの変化がかかった時に生じる脳の機能の乱れ「せん妄」という症状が出る場合があります。

せん妄の時はこんな変化や特徴があります

- 意識がくもってぼんやりとしている
- もうろうとして話のつじつまが合わない
- 朝と夜を間違える。病院と家を間違える。家族のことがわからない。
- 治療をしていることを忘れて、点滴などのチューブ類を抜いてしまう
- 怒りっぽくなり、興奮する
- 見えない物を見えると言ったり(幻視)、ありえないことを言う(妄想)
- 夜になかなか寝られず、日中に眠ってしまう。
- 症状は急に出ることが多く、夜になると症状が激しくなる。

＊せん妄を起こしやすい原因



- 今回入院された病気による影響
 - 急に環境が変わった(入院・手術など)ことによるストレス
 - 耳が聞こえにくい、目が見えにくい
 - 夜に眠れない、身体の調子が悪い（痛みなどの症状）
 - 日常的にお酒を飲んでいる
 - もともとかかっている病気や薬の影響など
- これらの原因が重なるとせん妄を起こしやすくなります。

せん妄は、体の症状のひとつであり、「気持ちの持ちよう」や「こころの問題」ではありません。ぼけてしまったとか、精神病にかかったわけでもありません。適切な治療を行えば、半数以上の患者さんで症状が改善するとされています。

＊せん妄がもたらすもの

- 危険な行動の原因となる(知らない間に点滴やチューブを抜いてしまう、ベッドから落ちてしまうなど)
- 患者さん自身がつらさを感じる（頭が混乱して眠れない、不安になるなど）
- 治療がスムーズに進まない、場合によっては中止の可能性もある。(意識がくもった状態で意思がはっきりしない、治療のために安静が保てないなど)

せん妄の治療

せん妄は、からだへの負担を原因とする脳の機能の乱れであるため、負担となったからだの問題を取り除くことが治療の基本となります。

- 脳の機能の乱れを改善するお薬
- 患者さんが安心できるような環境の調整をあわせていきます。

ご家族の皆様へ

患者さんの意識が混乱しているときは、ご家族がそばにいないだけで患者さんは安心されます。

- つじつまの合わないお話があっても、無理にただす必要はありません。
- いつも通りの落ち着いた言葉かけをお願いします。
- 症状が強くなる夜間は、家族に付添をお願いすることもあります。

患者さんのためにぜひご協力をお願いします。